



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE PORT KOBE PORT

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988
神戸ポートワイズメンズクラブ
〒650-0001 神戸市中央区加納町 2-7-11
神戸 YMCA 内
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479

第1例会第4水曜日 18:30-20:20
第2例会第1木曜日 19:00-20:30

第419号
2022年11月

会長(CP)中山迅一テーマ: 地域での活動を広めよう Let's spread the activities in the community

国際会長(IP)K. C. Samuel (India)

Theme: Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT (フェロウシップとインパクトで次の100年へ)

アジア太平洋地域会長(AP)Shen Chi-Ming(Taiwan)

Theme: Elegantly Change with New Era 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

西日本区理事(RD)主題・スローガン: 田上 正(熊本むさし)

テーマ: 原点を知り将来に生かす Know the origin and utilize it in the future!

六甲部部长(DG)若林成幸(宝塚)

テーマ: 困難な時にこそYMCAと共に進もう "Let's proceed with YMCA in difficult times"

11月強調活動 YMCA サービス・ユース事業

YMCAに行きましょう。そして、スタッフ・リーダーと対話しましょう。

清水 淳 YMCA サービス・ユース事業主任 (とやまクラブ)

<11月第1例会>

美しい夕焼けを見つめながら想うことは、人さまざま。赤い夕日が心に沁みる季節です。
今月はメンタルヘルスについて学びます。実り豊かな一年となるよう、晩秋の時を有意義に!

ZOOM 会議室: ID:846 0891 4755、PC:880508

<記>

- ・日時: 11月30日(水)午後6時30分~8時00分
- ・場所: 神戸 YMCA 三宮会館&ZOOM 会議室
- ・ドライバー: 北島伸三ワズ
- ・開会点鐘: 中山会長
- ・講話「9割以上の人が知らない精神科診断や治療の実実」
講師: 米田倫康市民の人権擁護の会日本支部代表世話役
- ・諸連絡、YMCA 報告
- ・今月のお誕生日、ニコニコ
- ・閉会点鐘: 中山会長

<2022-2023年度のファンド・累計>

	10月	累計
ニコニコ	6,200円	16,200円
物品販売	0円	0円
じゃがいも	0円	0円
新玉ねぎ	0円	0円
合計		16,200円

<10月出席状況>

出席率: 89.5%(出席数)17/19(出席率対象会員数)

<今後の主な予定>

<11月第2例会>

11月2日(水) 午後7時~8時30分オンライン

<神戸 YMCA チャリティーラン>

11月23日(水・祝)10:00~12:00

<11月第1例会>

11月30日(水)神戸 YMCA 三宮会館&ZOOM 会議室

講話「9割以上の人が知らない精神科診断や治療の実実」

講師: 米田倫康市民の人権擁護の会日本支部代表世話役

<12月第2例会>

12月1日(木) 午後7時~8時30分オンライン

<12月第1例会> 12月16日(金)

HAPPY BIRTHDAY!

5日: 水野公子メット 23日: 郡美恵子ワズ

<2022年11月の聖句>

「何事にも時があり 天の下の出来事には全て定められた時がある。」

旧約聖書 コヘレトの言葉3章1節

2022—2023年度クラブ役員

【会長】中山迅一【副会長】大野 勉【直前会長・書記】宮内伸浩【会計】水野雄二【監事】丹羽和子【担当主事】松田道子

100 年前の 11 月に始まった！

レガシー・ウィーク・キックオフ・イベントより

ワイズメン・インターナショナルの物語は、1920 年にオハイオ州中西部のトレドという中規模都市で始まりました。YMCA の会員増強担当主事である Terrance Clarence Evans が事務局長の Percy Williams に、ロータリーをモデルにした YMCA の若手会員による地域的・国際的な奉仕活動団体の構想について、相談しました。17 人の発起人がクラブ結成に同意しました。数週間後、この若者たちは、少年時代からの YMCA 会員で、若い判事であるポール・ウィリアム・アレキサンダーの熱意に触発され、会合を開くようになります。彼の積極的な働きかけで、17 人でスタートしたクラブは、1 年で 75 人にまで膨れ上がりました。

ある日、戦時中にフランスのワイズメンズクラブの小屋で働いていたアメリカのボードビル芸人、ウィル・M・クレッシーが、クラブに体験談を話しに来ました。クレッシーはヨーロッパにいたときから、カリスマ的な存在で、東洋のワイズマンと自称していました。アレキサンダーは、馴染みのある YMCA の雑誌『Association Men』から Cressy の文章に親しんでいます。ミーティング後、アレキサンダーはクレッシーに、これから創立する YMCA のサービスクラブにこの名前を使わせてほしいと頼みました。Tolymca クラブは Y's Men's Club of Toledo となりました。

1922 年 2 月 22 日、アレキサンダーと他の数人のクラブメンバーは、オハイオ州の YMCA で講演を行いました。最初のクラブはすぐに 3 つになり、5 月には 6 つになりました。オハイオ州 Y's Men 協会が設立されました。8 ヶ月後には全米に 17 のクラブができ、ニュージャージー州アトランティックシティで行われた YMCA の 3 年ごとのミーティングと並行して、最初の国際大会が開催されました。

13 の Y's Men's Clubs を代表する 66 人の男性が出席することになりました。11 月 15 日から 17 日にかけて、このメンバーは、憲法と細則の最終決定、会員資格の定義、加盟手続き、役員、理事の選任などを協議するために独自に会議を行いました。

トレド・クラブ書記のポール・ウィリアム・アレキサンダーが初代国際会長に就任することを受諾しました。11 月 22 日、他の 4 つのクラブはニュージャージーでの決定を批准し、国際ワイズメンズクラブ協会（後に、Y's Men International, YMI となります）が正式に設立されました。

<今月の聖句について>

我が家の玄関の靴箱の上に、正方形の積み木の面に数字が書いてあって、日めくりのように月と日を替えるカレンダーがあります。ところがふと気が付くと、替えるのを忘れあつという間に 3 日ほど経っていることがあります。時間の流れの速さに驚くと共に、無駄に過ごしてきたのではと反省する時もしばしばです。今日の聖書の言葉「何事にも時があり」の「時」と「天の下のある出来事には全て定められた時がある」に使われる「時」の原語は異なっています。初めの「時」は決定的な瞬間を表す「時」で、後の「時」は期間を表す言葉が使われています。さあやるぞ！という瞬間の時、そして、それが継続していく期間を表す「時」を繰り返しながらワイズの活動も続けられています。今期の約半分が過ぎようとしています。前半、新しいメンバーが増え共に喜びの時を過ごすことができました。感謝です。 丹羽和子

<10 月第 1 例会報告>

・日時 2022 年 10 月 26 日（水）19:00～20:20

・場所 神戸 YMCA チャペル・ZOOM 会議室

・出席者

メンバー：井上、大野智、大野勉、北島、幸田、郡、園田、田代、中山、丹羽、松田、水野、宮野、山田各々（14 名）

ゲスト：土師守さん（講師）、岡本正さん（WAP 社長）、松森正樹さん（YMCA 職員）、住本陽子さん、長谷川清美さん、馬場陽子さん、野村奈美さん、藤田公さん、岩切幸子さん、オンパダ香織さん（6 名大野智友人）、篠原拓真さん、霍見真一郎（2 名神戸新聞社）（12 名）

ビジター：伊藤文訓（西日本区地域奉仕・環境事業主任）（長浜）、進藤啓介、井出富光子、原伸行、中道京子、森愛子（神戸）、森律子（八代）、福田宏子、多胡葉子、石田由美子（宝塚）、中村隆司、中村典子（京都ウエル）、田辺征一（神戸学園都市）、山口ミハル（金沢）、吉田由美（大阪なまのしま）、牟大盛（大阪）、櫻井浩行、櫻井啓子（東京むかで）、伊藤幾夫（東京多摩みなみクラブ）、長田俊児、土屋恒夫（下田）（21 名）※下線の方は Zoom で参加

・内容

講話『犯罪被害者の権利と支援の重要性について』

～犯罪被害者の思いに迫る～

講師 土師守氏（公財ひょうご被害者支援センター理事・新全国犯罪被害者の会幹事）

ドライバー：大野智恵ワイク

・記録

土師守さんは、「全国犯罪被害者の会（あすの会）」の立ち上げや、「犯罪被害者等基本



法」などが成立していった経緯を写真や記録で丁寧に説明されました。土師さんの人生を大きく変えた『神戸連続児童殺傷事件』から25年で、犯罪被害者への支援は大きく改善されましたが、そこへ至るまでには多くの人を巻き込んだ地道な継続的な活動があったという事がわかりました。犯罪被害者の遺族になるとはどういうことなのか、直接的なことだけでなく遺族を苦しめる報道被害の大きさは、私たちの想像を超えるものでした。土師さんが「被害者には人権がない」という思いを持たれるまでどれだけ理不尽な経験をされたことでしょうか。被害者には、身体的・精神的・経済的にも苦しめられているという現状がありました。その中で、ご自身のお子さんを失った悲しみを（あってはならないことではあるが）次の被害者の人には味わって欲しくないという思いから、被害者の権利獲得へ向けて立ち上がられたということです。多くの犯罪被害者への賠償が加害者からなされていないという報告もありました。「犯罪被害者の現状を改善することは社会のセーフティーネットの一つ。非常に重要と理解してほしい。」との切実な声が胸に迫りました。「犯罪被害



害は誰にでも起こりうることで理解して、自分ごととして捉えて欲しい。」とも言話されました。被害者の権利を守り支援を充実させるためには、これからまだまだ取り組みを強固なものにしていかなければならないと改めて感じました。（大野智恵）

<11月第2例会記録>

- 1.日時:2022年11月2日(水)19:00-20:20
- 2.場所:ZOOM 自宅[遠隔]
- 3.出席者:大野勉,大野智,北島,幸田,中山,丹羽,松田,水野 宮内,山田 10名
- 4.内容:
 - (1)10月第1例会:記録は上記掲載(前頁)
 - (2)10月度活動報告
 - ・10/3(月)六甲部役員会(ZOOM)
 - 部則改定の件:部長選出について、西日本区次々期理事候補の件(神戸クラブ鶴丹谷ワイズ):ZOOM:大野智,大野勉
 - ・10/17(月)六甲部第2回メネット委員会
 - ・10/19(水)第1回交流事業委員会(神戸ポート)

- ・10/29(土)神戸 YMCA 秋まつり (13:00-16:00)
- 音楽プログラム等(鉄道模型展示、WAP 展示・販売等)
- 参加者:水野,山田,小合瀬,丹羽,宮野,松田,園田,田代,北島,大野智恵,勉

・各部部会

10月1日九州部(山田、大野)、8日中西部(山田)

- ・じゃがいも各メンバー配達
- ・食支援ボランティア(丹羽、大野智恵)

(3)11-1月のクラブ例会

- ・11月第1例会:11/30(水) 18:30-20:00
卓話:米田倫康(のりやす)さん(市民の人権擁護の会日 本支部代表世話役)「9割以上の人知らない精神科診断や治療の現実」※手土産準備(大野智)
- ・12月第2例会:12/1(木) 19:00-20:20 オンライン
- ・12月16日(金):クリスマス例会:特養オリンピアへ歌を届ける 18:30~19:00(教室:ZOOM)
- 祝会:「まどろ」にて4,000円(持込OK)
- ・12月17日(土)DBC交流
行き先、内容についてアンケート。午後まで交流。
- ・1月第2例会:1/5(木) 19:00-20:20 オンライン
- ・1月第1例会:1/25(水) 18:30-20:00
新年例会『音楽を楽しもう』大久保有記さん
食事会「やっちゃい」4,000~5,000円

(4)今後の予定、他クラブ例会等

- ・11/3(木)六甲部役員会
- ・各部部会
11月3日瀬戸山陰部、12日六甲部
- ・11/12(土)10:30-16:00 六甲部部会 宝塚ホテル
(午後)井上、水野、松田、幸田、園田、北島
(フル)大野智、大野勉、山田
- ・11/19(土)大阪泉北クラブ40周年:大野、山田、京都ブラッククラブチャーターナイト:大野
- ・11/23(水・祝)神戸 YMCA チャリティーラン
井上、水野、松田、大野智、大野勉、田代、宮内
協賛金:一口3000円(個人)、2万円(クラブ)
- ・3/10~12 ワイズ100周年を祝う会(台湾・台北)
大野智恵・勉、北島、
- ・石巻訪問:山田、園田、

(5)協議課題

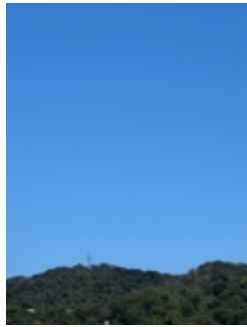
- ・六甲部絵本プロジェクト献金について
六甲部目標 各クラブ1万円
1月28日(土)絵本贈呈式
- ・YMCA街頭募金について
12月11日(日)14時~15時大丸前
- ・理事からの提言について
- ・3月例会:3月25日12時~和菓子心:移動例会
虎屋末吉(御影)での和菓子づくり(1,500円)
- ・チャリティーコンサート:長田高校合唱、リコーダーアンサンブル等@聖愛教会 ※12月例会で確定
- ・次期会長・主査(広報):12月例会で提案(山田)

<会員投稿>

空の深さ

宮内伸浩

青空を見ると、それもその青が深ければ深いほど、心に幸せが染み渡ります。この秋は近頃になくその青が深い気がします。近年青空の深みが乏しくなったな、と思っていただけに幸せ度も深くなります。深さの多寡などは錯覚かもしれませんが、実体がなくとも心が満たされればそれもまた恵み多いものです。もう四半世紀以上昔になりますか、梅田でスカイビルを背景に、吸い込まれるように深い青を見上げたことがあります。無限に続く深みに心が吸い込まれてゆくような。脈略もなくチャイコフスキーのホ短調のシンフォニーの4楽章冒頭のメロディーが意識を巡りました。普通ならアルゼンチンタンゴなんかが似合いそうな場面でしょうか。とにかく今でも覚えているほどの深さだったのですね。それ以来空は少しずつ色あせて、そして今年の秋です。▼空はなぜ青いか。光のスペクトルのうち、波長の短い青寄りの波は空間の酸素や窒素粒子と衝突した場合、比較上散乱の強度が強く（この強度は波長のなんと4乗に反比例）、そのため青く見えるそうです。粒子と衝突して散乱するならpm.2.5なんかも空の青さに寄与しそうにも思えますが、それは屁理屈なんですね、きっと。より地表に近い高度で青さを遮る効果しかないのでしょうか。とても嫌いな奴です。▼空からの青い光はとてめえがたい贈り物ですが、それが爆弾に置き換わると、これは何としても防がなければなりません。そのような環境に巻き込まれないよう全方位的な地道な外交努力が望まれます。しかし現実世界では努力が及ばず、長期間に亘りそのような事態に遭遇している国があります。国民は堪(たま)ったものではないでしょう。しかし事態を取り巻く諸国家の、その一方だけが全的に悪いのかどうか、判断する力は私には有りません。そういえばおおよそ四半世紀前、私企業の巧みな宣伝工作により、一方的に悪者にされた国家がバルカン半島にありました。深い青に魅せられていた頃には何となくスルーしてしまったその紛争と宣伝工作の怖さを今更ながらに勉強してみようかなと思います。せっかく青い深い空を感じた今。



戻った日でもありました。準備委員会はワイズメンズクラブ、ブランシエール神戸、YMCAの3者が集い進められました。当日は天候にも恵まれ約200名がチャペルコンサート、和太鼓、展示、物品販売等を楽しみました。ホテル学科、日本語学科の学生たちも入学前から楽しみにしていたイベントの一つで実施できたことを大変喜んでいました。来年は地域の方々をお迎えしてのイベントになればと願います。秋まつり実施にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

2. 秋のイベント予定

(1) 世界YWCA/YMCA 合同祈祷週

1904年以来、世界YWCA/YMCAは毎年11月の第2週を「合同祈祷週」として定め、毎年一つのテーマを決めて世界各地で礼拝や集会を行い、共に祈りの時を過ごしています。

期間：2022年11月13日（日）～19日（土）

テーマ：Ignite "Praying the Impact"

（運動の広がりにより火をともし祈りによって）

(2) 神戸YMCA インターナショナル・チャリティーラン

1987年に東京で始められ、その後全国21カ所で開催されています。神戸YMCAは第24回目となります。

日時：2022年11月23日（祝）10:00-11:30

会場：しあわせの村（神戸市北区）

・詳細はちらしをご参照ください

(3) わたしたちの難民問題／オンライン開催

難民の現状を知り、私たちができることを考えます。

開催日：各回 水曜日 19:00～20:30

①11/16 レバノンにおけるシリア難民教育支援

②11/30 難民として日本とオーストラリアに暮らして

③12/7 ウガンダにおける難民支援

④12/14 ウクライナ避難民支援について

※詳細は以下のWEBよりご確認ください。

<https://www.kobeymca.org/data/pdf/20221116.pdf>

(4) 神戸YMCA 国際協力街頭募金活動

日時：2022年12月11日（日）14:00-15:00

場所：神戸元町大丸前

・参加を担当主事までお知らせください

<編集後記>

3年ぶりに行事の多い秋となりました。各部部会、YMCA秋まつり、チャリティーラン等、対面で出会い、共に活動、懇親できることが、私たちのエネルギーの源であると、改めて実感しております。ああ、マスクの外せる日はまだかなあ！と、青空を仰いで深呼吸する毎日です。

神戸YMCA レポート/ニュース

1. 神戸YMCA 三宮会館「第4回秋まつり」報告

10月29日、3年ぶりに三宮会館の秋まつりを開催しました。2017年春に三宮会館の建て替えを終え、地域に開かれた会館を目指し、地域の方々との交流を目的としての秋まつりを開催してきましたが、コロナ禍で2年続けて中止となりました。今年は会館に集う方々との交流を目的に実施しました。2020年1月から閉じられていた会館1階レストランの扉が2年半ぶりに開かれたことにより、神戸YMCAと上階のブランシエール神戸北野との往来も以前のように